

「突然の事故から 40 年、自立支援に米国で培った 3 つの方法を実践

障害者スポーツ、バリアフリー、まちづくり、シーティング、そして、今」

～弱点を強さに変えて成功を目指す～

自分について

病気（髄膜炎）

留学

事故・障害（脊髄損傷、脳挫傷）

告知

リハビリ開始時に言われた言葉

最も大切なリハビリ

目的を持ったリハビリ

素晴らしいサポート体制

事故から社会復帰・復学

大学生活

障害があっても自分のやりたいことがしたい！

褥瘡（床ずれ）

大学卒業・帰国・就職

競泳

褥瘡

日本の脊髄損傷者リハビリ病院に入院

日米の病院の違い

考え方の違い

当時の日本の問題点

米国で自立を可能にしてくれたもの

考え方、道具、環境

日本の問題を解決するために

道具、環境、考え方

(株)アクセインターナショナル 車椅子をはじめとする「障害者支援機器」の提供

- 道具の考え方を変える、車椅子を変える、スポーツ用車椅子を変える、最新の支援機器の提供

チェアスキー、水泳、スキューバダイビング

バロセロナ・パラリンピック

障害者スポーツの普及活動・情報提供

アクティブジャパン

シーティング

シーティングで褥瘡を完治

シーティング普及活動スタート

使用者に合わせて車椅子を適切に設定・調整して最適な姿勢を提供
目的は残存機能の最大限の発揮
褥瘡、変形、拘縮などの二次障害の防止
車椅子を「移動の道具」としてだけでなく「生活の場」へ

日本と欧米の違い・車椅子

日本と欧米の違い・車椅子ベルト（抑制帯 vs ポジショニングベルト）

シーティングの普及

シーティングで自立支援と介護威厳を実現する議員連盟

「シーティング」が診療報酬で算定可能に

障害児と二次障害

二次障害はシーティングで予防できる

AT（Assistive Technology：障害者支援技術）

真の自立を支援する

介護→自立 年金生活者→納税者

●身体障害者は優れた道具によって自立を支援し、介護は本当に必要な認知症や重度障害者に集中すべきだと考えます。

自由に活動させてくれるバリアフリーな環境

日本のアクセシビリティの問題点

人が手伝えることを前提とした「対処型バリアフリー」が多い

自分でできる環境

パーキングパーミット

「バリアフリー」の考え方を変える

真のバリアフリーを基本としたユニバーサルデザインへ

（株）アクセスコンサルティング

アクセシビリティによってユニバーサルな社会の実現をサポートしていく総合的なコンサルティングを提供。

ダイビングを極める

さらなる問題発生（膀胱がん、右腎臓摘出）

オストメイト・内部障害者として

顔面末梢神経麻痺

（株）アクセスプランニング

（株）アクセスインターナショナルでの活動で培った車椅子、シーティング、支援機器の知識と技術に、（株）アクセスコンサルティングで提供したバリアフリー化、ユニバーサルデザインのまちづくり、商品開発等のコンサルティング業務を統合。シーティングからまちづくりまで障害のある方の自立支援を目指した様々なコンサルティングを提供します。

メッセージ 少子超高齢社会の日本が向かうべき方向